



Y's Men International

Japan East Region 2021-2022 理事通信

主題 “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
スローガン “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）



12月になりました。新型コロナウイルス感染症の拡大も国内では小康状態となりましたが、新しい変異株オミクロン発見され、心配される状況が続いています。東日本区では国際協会が提唱する会員増強 100 日キャンペーンに呼応して、9月から3か月間に渡って Change!2022 推進委員会が主催してワイズ・ナイトフォーラムを開催いたしました。詳細は今号に掲載されている栗本委員長のご報告をご参照ください。12月は100日キャンペーンの締めの日となります。会員候補者の情報をクラブ内で共有いただき、12月以降の例会等ぜひ、積極的な働きかけをお願いいたします。

浅見隆夫元理事が、11月10日ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。今号に東京グリーンクラブの布上書記から追悼文をいただいで掲載しております。

12月の強調月間のテーマは「記録（ヒストリアン）」と「キリスト教理解」となります。ヒストリアンの仙洞田さん、メネット委員長の澁谷さんの文書を掲載しております。また、巻末には国際協会のキリスト教理解事業主任の Carl Hertz-Jensen さんから送られた素敵な Christmas Calendar を抜粋して掲載しております。紙面の都合で小さな掲載となっております。東日本区のウェブサイトには、オリジナルを掲載しておりますのでダウンロードしてご覧ください。

24.

Blessing from Bible:

May the LORD bless you
and keep you,
may the LORD cause His face to shine upon you
and be gracious to you;
may the LORD lift up His countenance toward you
and give you peace.

Numbers 6, 24-26



MERRY CHRISTMAS

強調月間「記録(ヒストリアン)」

東日本区ヒストリアン 仙洞田安宏(甲府)



ワイズの強調テーマに「記録」という文言が登場したのは初めてではないでしょうか？ これは想像するに、ワイズ国際協会が 2022 年に 100 周年を迎えることから、「歴史」や「記録」について考えよう、ということだと思います。

国際の、区の、部の、クラブの歴史を知り、記録の重要性を考える機会として捉えたいものです。

▼ヒストリアンからお願い

東日本区ヒストリアンの役割は、東日本区の歴史的事項を将来に亘って正確に記録するために、区報・区役員会資料、区大会資料・加盟認証状の写し・クラブ記念誌等の文献を収集、整理、保存する、とあります。また、年表などの資料を作成・整理することも課せられています。(ロースター&ハンドブックより) 該当するクラブの皆様には、これらの資料類の収集にご協力をお願い致します。

▼記録の森の探検

さて、ヒストリアンという役職柄、稀に歴史的な事柄に関する問い合わせを受けることがあります。以前、『「YMCA の歌」が区大会で歌われたのはいつからか?』という難問が寄せられました。当然のことながら即答はできませんので、過去の区大会の資料を調査しました。その結果は、第 24 回大会(1969 年)以降は、大会プログラムの式次第に記載があり、歌っていたことは確実と思われまます。それ以前については第 12 回大会(1957 年)の配布物の中に歌詞だけが掲載されていたのが最初です。大会中のどこかで歌われたのか、参考として記載されたのかは明らかではありません。なお、現在歌われている「YMCA の歌」は 1954 年に制定されています。

10 年程前、私の前任者の吉田明弘さん(東京西)が著された「ヒストリアンズ・ビュー※」に刺激されて、ワイズダムの側面を観察する目的で、幾つかの小文を書いたことがありました。その中で「女性会員」を取り上

げたことがあり、日本で最初の女性会員はいつで、誰なのかを調べたことがありました。これは過去のロースターが保存されていることから分かりました。国際協会女性会員が認められたのは 1974 年で、その年に日本区でも初めての女性会員が誕生しました。このように、記録という森を探検するのも楽しいものです。

なお、今月の国際会長ニュースに、YMIヒストリアン事業主任が、在籍 50 年以上の会員を探している旨が記載されています。いずれ正式な依頼があるものと思います。

▼ブリテンは記録の泉

昨年、所属する甲府クラブが 70 周年を迎え、その記念誌の編集に携わりました。主に 60 年以降の 10 年間の活動を中心に纏めました。体裁は 50 年、60 年誌に倣いました。10 年間の活動の記録やデータ類のソースは主にブリテンです。クラブでこれらの資料が保存されていたので、大いに助かりました。ブリテンは、広報・啓蒙・交流等の役割もありますが、基本は「記録」です。ですから、例会、役員会、各種活動の記録には正確性が求められます。今月はブリテンの重要性についても考える月にしたら如何でしょうか。

▼記録は未来への架け橋

今年はアメリカ大リーグで大谷翔平選手が大活躍しました。「ベーブ・ルース以来〇年振り」「大リーグ史上〇人目の快挙」といったフレーズを何度も見聞きました。当然のことながら、これらの〇は「記録」が正確に整備されているからこそ分かるものです。もし「記録」が整備されていなかったなら、大谷選手の活躍から受ける感動も随分と醒めたものになったでしょう。

「記録」という事実の蓄積が「歴史」を紡ぎます。私たちは「歴史」から学び、未来への道しるべのヒントを得ることができるのだと思います。そういう意味では、「記録」は未来への架け橋とも言えるのではないのでしょうか。

※「ヒストリアンズ・ビュー」は東日本区ウェブサイト内の下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.ys-east.or.jp/document/historian-view/>

強調月間「キリスト教理解」

「新しい光を待ち望んで」

ワイズネット委員長 澁谷 実季(所沢)



キリスト教強調の月間となる12月は、世間一般で見れば「師走」の時であり、新年を迎えるために「終わり」を目指して日々を過ごすのではないかと思います。他方、キリスト教側面で見ると「新しく暦が始まる」時であり、教会暦の節目として、「主の半年」が待降節（アドベント＝ラテン語で「接近する」意）の期間から始まります。本年は11月28日(日)より待降節（アドベント）が始まり、日曜ごとに蠟燭の灯りを1本ずつ灯しながら礼拝を守り、降誕日（クリスマス）に向けて気持ちを整え、救い主イエス・キリストのご誕生を待ち望む時期を過ごしています。

クリスマスを迎えるにあたり準備をする期間があるというのは珍しいことではないかと思えます。なぜならば、イエス・キリストの誕生はただ一人の人の誕生日というのではなく、神さまの真理の光がこの世の暗闇の世界に輝きだしたという主題を達成するために待ち望みつつ、新しい明かりへの希望をもつことができるよう心の備えをする時期であります。

クリスマスの成立は、3つの影響を受けていると言われています。第1にユダヤ教の光の祭り「ハヌカー祭」です。ユダヤ人たちの信仰の中心であったエルサレム神殿が異教徒によって汚されてしまうという悲劇が起りましたが、神殿を聖別して再び光が回復されたことを喜び祝う日となり、光の祭りと呼ばれています。この光は世の光としてこの世に来られたイエス・キリストを祝うことと重なりあいます。第2にローマ帝国からの影響として、冬至の祭りの「サトゥルナリア」の日に来るべき年の豊作を冬の間に祈るというものです。冬という厳しい季節から太陽が光を取り戻し、自然の移り変わりの中で春を待つという

祭り。この日には枝や葉で冠を作り、門口に飾る風習や子どもたちに贈り物をする風習が伴います。第3にケルト民族やゲルマン民族に冬至の祭りが影響を与えています。緑の葉を用いた飾りは樅の木の神秘的に見るとき不思議な力を放っていると考えられていました。そして、もみの木などの大きな木を飾ることから巨木信仰への関りがありました。これら3つの事柄は、共通してキリストが太陽として再び光を投じてくださるというキリスト教メッセージを伝えているものです。

クリスマスと言えば、コカ・コーラ社の赤いサンタさんとイメージする方が多いかと思いますが、子どもにとってプレゼントがもらえ楽しい時というイメージがとても強くあります。しかし、物質的なつながりを喜ぶのではなく、精神的なつながり、それは「生きる希望を持つこと」、「命の灯が消えないこと」の方が大切なのではないのでしょうか。

キリスト教精神を柱にして活動している私たちワイズメンズクラブは、救い主イエス・キリストのご誕生により新しい希望を持ち、現在のコロナ禍での苦しみ、暗闇の世界、先が見えない不安感等々様々な状況があることを十分に理解し、神さまが私たちに備えてくださる「温かな光」、「温もり」、「希望の光」、「希望の喜び」を備えられている確信を持つと同時に、そのことを心から期待し、待ち望む時として日々を過ごしたいと思うものであります。ワイズ100周年に向けて明るい未来への扉を、主のご降誕と共に待ち望んで参りましょう。

ワイズ・ナイトフォーラム Zoom 開催報告

Change! 2022 推進委員会委員長
栗本治郎(熱海)



コロナ禍の中、ワイズ活動の中止や交流の停滞が続いておりますが、オンラインを活用することで、様々な交流が図れるようになりました。このような状況の中、

大久保理事の提案でワイズ内だけでなく、ワイズ以外の方々にもワイズの魅力を知ってもらう機会となるようなフォーラムが検討され、会員増強に繋がることを期待し、Zoom による『ワイズ・ナイトフォーラム』を企画いたしました。フォーラムは、2部構成とし、第1部は、身近で今興味のあるテーマの卓話をお願いし、第2部では、ワイズの奉仕活動・ワイズの魅力をパネルディスカッションの形で紹介します。忙しい中でも、一番時間の取れそうな日曜日の夜8時からの開催としました。

第1回は、9月19日(日)に開催し、一部の卓話には、NHK eテレ『趣味の園芸』の中の『やさいの時間』を30年近く担当されて、知名度のある東京多摩みなみクラブの藤田 智さんをお願いしました。コ

コロナ禍で人気上昇中の家庭菜園
一人ひとりのコミュニケーションの手段として
東京多摩みなみワイズメンズクラブ 藤田 智



ロナ禍の中で癒しの時間として野菜作りが秘かなブームになっていることなど、クイズを

交えてお話して頂きました。二部のパネルディスカッションは、『カンボジアに園児服を送る活動・・・』をテーマにして、大量の園児服や古着をカンボジアの村やスラム街に持って行き、現地の人たちと交流する様子を東京ベイサイドクラブの佐竹 誠さんが紹介し、宇田川さん(東京江東)、大久保理事を交えてディスカッションが行われました。参加者70数名、内一般参加者10数

名でした。

第2回は、10月24日(日)に開催し、一部の卓話には、TOKYO2020 オリンピックにボランティアとして参加した、元理事の川越クラブの利根川恵子さんに、ボランティアの研修の様子、フィールドキャストの役割、チョトだけ裏話など楽しくお話して頂きました。二部のパネルディスカッションは、北海道『チミケップキャンプ場の活動・・・』をテーマにして、十勝クラブの山下真さんがファシリテーターを務め、二本松さん(北見)、伏木さん(札幌)がパネラーとなり、キャンプ場の歴史、日本におけるYMCAのキャンプに関する話、現在の状況、今後の課題についてディスカッションが行われました。参加者75名、内一般参加者10数名でした。

第3回は、11月21日(日)に開催し、一部の卓話には、ワイズメンズクラブ国際協会の元国際書記長で、現在はチェンマイクラブの西村隆夫さんに、国際本部のあるジュネーブやサテライトオフィスのチェンマイの紹介や現在に至るお働きをお話していただき、また、オリンピックボランティアの時のお話をしていただきました。二部は、『青少年事業活動の魅力・・・』



をテーマにして、沼津クラブの相磯優子さんがファシリテーターを務め、パネラーに深澤さん(熱海)、榎本さん(伊東)、本間・相川・酒向さん(東京江東)がそれぞれのクラブの活動を紹介し、奉仕活動を通してワイズの魅力を知ったことなどディスカッションが行われました。参加者85名、内一般参加者10数名でした。

フォーラム開催により、他クラブの様々な活動の紹介がワイズ内での情報の共有になり、今後の活動の参考にもなったのではないかと、勝手に感じています。このフォーラムがChange! 2022の目的であるEMCに繋がると信じて報告いたします。

「浅見隆夫 元理事を偲んで」

東京グリーンクラブ書記

布上征一郎

東京グリーンクラブの浅見隆夫メン（80歳）が11月10日の深夜、ご自宅で逝去されました。浅見隆夫メンは東京グリーンワイズメンズクラブ1973年設立のチャーターメンバーであります。1973年3月5日にスポンサークラブ、東京クラブ及び東京江東クラブのご支援を賜り、ワイズメンズクラブ国際協会に加盟し、同年4月8日に東京神田の東京YMCAにて加盟認証状伝達式が行われました。その時点では25名のクラブ員でした。



浅見メンはクラブ内で、会長をはじめ各役職を務められ、当時の北東部部長も担当されました。さらに2005年～2006年第9代東日本区理事を務められました。仙台・松島での東日本区大会も盛大に和やかに開催され、良い思い出になっています。

その後2010年、横浜での国際大会に参加する直前に大病を患い、大きな手術をされました。それでも持ち前の頑張りで従前どおり、ワイズ、クラブの活動、趣味の水彩画、釣りなどなど、積極的に活躍されておりました。



特に2020年10月3日、コロナ禍の最中にリアル会合で浅草橋ヒューリックビルを会場として開催された「関東東部大会&千葉ウエストクラブ・チャーター

ナイト」では実行委員長として、会場の予約、設営、運営をリードされ、大成功の部会になりました。

直近では9月・10月のクラブ役員会、例会な

どの ZOOM リモート会議にはお顔を出されて発言もしっかりされておりました。



ただ、最近「断捨離、断捨離」と身辺整理を急がれていたのを思い出します。

本当に急な事でもあり、クラブ員全員沈痛な思いであります。ご病気を抱えてのワイズ、クラブ活動は我々の想像以上の辛い忍耐の連続ではなかったかと拝察されます。

どうぞ、ゆっくりとお休みください。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

東日本区からのお知らせ

11 月度新規入会者

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者
21/11/11	北東部	宇都宮	稲葉彩子	大久保知宏
21/11/24	あずさ部	甲府 21	松原 豊	宮岡宏美

JEF 献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
21/11/29	富士山部	沼津	小林隆	¥10000

ミャンマー募金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
21/11/17	あずさ部	東京たんぼぼ		¥10000

累計¥75000

12 月の主な行事

12 月 1 日 Change!2022 推進委員会

12 月 8 日 「祈りの輪」の日

世界中のワイズメンズクラブ会員が「共に祈る時」を持つ日。

12 月 8 日は、ワイズメンズクラブの創始者 P・W・アレキサンダーの誕生日。この日を記念して世界中のワイズメンズクラブ会員が、それぞれの国の午後 8 時に「共に祈る時」を持って地球上を輪でつなぐことを願うことから「祈りの輪」と言う。

Handbook127 頁ワイズ用語から転載

12 月 10 日 常任役員会

12 月 15 日

ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会

12 月 16 日 法人委員会

12 月 17 日 文献・組織検討委員会

次期の次々期理事及び次期財政監事推薦のお願い

2022-2023 年度の次々期理事候補者（理事任期 2024 年 7 月～2025 年 6 月）および財政監事候補者（任期 2022 年 7 月～2024 年 6 月）の推薦をお願いいたします。推薦されるクラブ会長は、推薦書をメール、ファックスまたは郵送で、板村哲也区役員候補者指名委員会委員長（直前理事・東京武蔵野多摩クラブ）にお送りください。

YMCA 報告

日本 YMCA 同盟協力主事/担当主事
光永尚生(三島)



日本 YMCA スタッフ研修ステップ II は、59 日間の研修の集大成として、オンライン配信による終了レポート発表を行いました。11 月 27 日に 12 名の研修生は各 YMCA に帰任いたしましたので、各 YMCA、

ワイズメンズクラブで研修の成果を発表し実践できる場所を提供していただければ幸いです。

【日本 YMCA スタッフ研修ステップ II 2021 年度修了レポート発表会】

日時：2021 年 11 月 25 日（木）13:00-17:30

場所：日本 YMCA 同盟国際青少年センター YMCA 東山荘

(1) 本田奈緒子（熊本 YMCA）

YMCA のレジリエンスプログラムにおける一考察ーコロナ後の豊かな社会の実現を目指してー

(2) 田中信也（広島 YMCA）

メタ認知の概要と YMCA 専門学校教育への適用

(3) 尾形裕一郎（盛岡 YMCA）

幼少期における自然体験活動の効用と、これからの YMCA プログラムの可能性

(4) 熊本四季子（熊本 YMCA）

専門学校の新たな展開の一考察ー学びの複線化ー

(5) 三上 淳（横浜 YMCA）

鎌倉 YMCA 未来計画

(6) 田邊朋美（横浜 YMCA）

YMCA におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進ー多様な人材が活躍できる YMCA を目指してー

(7) 村上一志（奈良 YMCA）

奈良 YMCA の地域社会への役割ー誰一人取り残さない社会へー

(8) 竹内光世（茨城 YMCA）

伴走プログラムを用いた、ミンシヨンベースドマネジメントの提案

(9) 横山弥利 (東京 YMCA)

東京 YMCA 国際ホテル専門学校が 100 周年を迎えるためにー学生募集戦略ー

(10) 瀧中 慎介 (大阪 YMCA)

新たなるアクアティックプログラムの展開についてー多様で、新たなる課題を抱えている対象への生きがいの提供を目指してー

(11) 池田聡美 (大阪 YMCA)

教員サポーター制度の提案ーユースが働きたいと思う学校環境とはー

(12) 荒井浩元 (とちぎ YMCA)

YMCA ポジティブネット居場所論

世界の YMCA のトピックス

■2021 年世界 YMCA ミーティングがオンラインにて開催

■YMCA の気候変動対策プロジェクト-COP26 にユースアンバサダーが参加

<https://www.youtube.com/watch?v=Pl3om2fbaVlk>

■世界 YMCA/YWCA 合同祈祷礼拝ライブ配信

https://www.ymcajapan.org/worldymca-ywca_weekofprayer2021/

■ジョージウィリアムズ生誕 200 周年

日本の YMCA のトピックス

■東京 YMCA でエッセイを公募 「豊かな福祉社会を創るために」

■神戸 YMCA じどうかんカフェで緩やかな支援

■盛岡 YMCA 地域とともに国際協力募金キャンペーン開始

■在日本韓国 YMCA 連続ティーチイン「交差するパレスチナ」

■オンライン英語キャンプ参加者募集

■第 52 回全国 YMCA リーダー研修会 1 日目の報告

■10 万人の子どもたちにとびきりのクリスマス

■児童養護施設の子どもたちにプログラミング体験の機会を

日本 YMCA 同盟からのお知らせ

■11 月研究所オンライン研修「YMCA のプログラムと SDGs」

■日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡ 修了レポート発表会

発表者および発表順序：日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡ修了レポート発表.pdf

■「全国 YMCA ユースチャレンジ 2021」では企画を再募集中

■2021 年度日本 YMCA ユースボランティア認証

■YMCA ノベルティ 秋冬期の注文受付開始

■1966 年に作成された世界 YMCA 同盟会費シール注文受付中

■YMCA 東山荘 『第 56 回年末年始家族パーティー』ご案内開始

今回で 56 回目を迎えます。東山荘でしか体験できないプログラム、年末年始ならではのイベントとお食事、そして何よりも和気あいあいとした雰囲気。

“とっておき” が詰まった東山荘の 4 日間。2021 年 12 月 30 日～2022 年 1 月 2 日。皆様のご来荘をお待ちしております。いつもありがとうございます。

国際協会キリスト教理解事業主任の Carl Hertz-Jensen
さんから Christmas Calender が届きました。



CHRISTMAS CALENDAR 2021



Christmas Decorations – 24 of them – one for each day in the Christmas Calendar, all in different shape and material, unique and special, carefully made by club members in my own club, Vejle Trekanten, for the last few years in late days of November. Each and every year we present 3, 4 or 5 different models for Christmas decoration. Here you will find one for all 24 days of Advent.

We use our home made Christmas decorations for selling in our town and neighborhood to collect money for our charity, social work and to give some assistance and help for children and youth in organized associations and movements. Making the decorations call for our activity and solidarity as club members. We are working very close together as we do our specified job for each single decoration. You take this, and you take that, I do so and then do so. Some are doing their job in the beginning process and some later in the process. There has to be several stations for each decoration. It is a working together process, and we feel happy, when we finish and fulfil our job, bringing the decorations around to the buyers in our city and in the neighborhood.

In my Christmas Calendar for this year 2021 I have decided to show the Christmas decorations for your inspiration. For each day and for each decoration I have put teachings of Jesus Christ, or other Bible quotations, many referring to the light in many different ways. You will find the word light, if you read and look for it.

The teachings of Jesus Christ we use and see as our basic value in our worldwide movement. It is our Christian Emphasis, telling us, what to do, and who we are, doing our service for others.

I hope for the future and a new life together, and I wish for all of you a Merry Christmas and Blessing from God in the New Year 2022, where we can celebrate our 100 years as Y's Men. Let us light a candle for Christmas and for New Year 2022!

Carl Hertz-Jensen
ISD CE – ASD CE – PAP – YMI Chaplain



1.

Teachings from Bible:

And God said, "Let there be light"; and there was light.

Gen. 1,3



24.

Blessing from Bible:

May the LORD bless you
and keep you;
may the LORD cause His face to shine upon you
and be gracious to you;
may the LORD lift up His countenance toward you
and give you peace.'

Numbers 6, 24-26



MERRY CHRISTMAS

全てページをご覧になりたい方は下記のアドレス
からダウンロードしてください。

<https://www.vs-east.or.jp/rd-report/>